



青山義明
自民党市議員

大河ドラマ「どうも家康」について

問 誘客後の受入れ体制を含め、どのような取組を考えているか。

答 上ノ郷城の歴史に関係が深い忍者を使った体験プログラムの開発、特別宿泊プラン等、新たな旅行商品の展開を考えている。

道の駅について

問 近隣地域での道の駅の設置・利用状況は。

答 幸田町、西尾市、岡崎市、豊橋市に1つずつ、新城市、田原市に3つずつ設置されている。観光客だけでなく、地域住民の利用も多く、にぎわっていると聞いている。

問 本市での可能性は。
答 制度の内容を研究し、補助金の活用や民間による設置に向けて



の可能性について検討していきたい。

資源ごみステーションでの問題について

問 違反ごみをなくすには過料を検討するなど、厳格に対応していくことも必要と考える市の考えを伺う。

答 監視カメラやパトロールなど一定の抑止効果を発揮する中、過料といった対策に実効性が伴わなければ、抑止力が低下することにもなり、慎重に検討しなければならぬと考えている。今後もステーションを管理する地域の方々と、着実に違反ごみがなくなるよう取り組んでいきたい。



藤田裕喜
自民党市議員

水道管路の更新とAI技術の活用について

問 効率的な水道管路の更新のため、他自治体でも活用されているAIによる劣化予測を導入してはどうか。

答 更新計画立案の補助としての利活用が考えられる。コスト等も含めて検討していきたい。

ハラスメントについて

問 看護専門学校から学生より、教員から学生へのアカデミックハラ

スメントに関する要望書・嘆願書が提出されたと聞いている。現状をどう考えているか。

答 看護師は命を預かる職業であることから、臨地実習時に学生の行動等に問題がある場合には、厳しいと感じる指導が行われることも



ソフィア看護専門学校

ある。しかしハラスメントがあったとすれば容認されるものではなく、事実確認を行い適切な対応を考えていく。

問 第三者委員会を立ち上げ、学生だけでなく教員も事務職員も対象とした調査を実施し、実態を把握する必要があるのではないか。

答 今回は教員と学生との間の事案であり、ハラスメント苦情処理委員会は職員間のハラスメントを対象とするものであるため、まずは速やかに健康福祉部において事実確認を行う。その結果に応じて内部調査委員会、第三者委員会等の開催を検討し適切に対応していく。



竹内滋泰
市政クラブ

防災・減災について

問 令和3年6月に公表された地域強靱化計画では、リスクシナリオにおける脆弱性の評価結果が示された。そこには、防災拠点構想の必要性が書かれているが、市の考えは。

答 防災センターの構想については、地域強靱化計画及び第五次総合計画の中で記載され、3年度の災害被害想定及び防災機能評価の中にも必要性が指摘されている。

現在、防災拠点として、どのような機能を備えるべきか、まだ具体的な計画の策定には至っていない。今後、引き続き研究していく考えである。

市民病院の安定経営について

現在、防災拠点として、どのような機能を備えるべきか、まだ具体的な計画の策定には至っていない。今後、引き続き研究していく考えである。

問 再生医療の今後の取組について伺う。

答 自己血を遠心分離した後の多血小板血漿（通称PRP）を利用し、人間が本来持っている治療能力や組織修復能力、再生能力を引き出す治療の提供を具体的に検討している。

当院で現在導入を検討しているPRP治療は、整形外科領域と歯科口腔外科領域で、4年度内に実施できるよう各診療科の医師などと協議を重ね、再生医療等提供計画の準備を進めている。

また、自家培養軟骨を使用した第2種再生医療の実施についても検討している。

